

パラ・パワーリフター

西崎 哲男 (にしざき てつお)

【生年月日】 1977年4月26日

【出身】 奈良県天川村

【所属】 株式会社乃村工藝社 (2014年11月入社)

【IPC日本記録】

(IPC世界ランキング登録記録2018.5.13現在)

54kg級 136kg (2016ジャパンカップ)

59kg級 138kg (2017全日本)



写真：NPO法人STAND／竹見脩吾

- 1993年4月 高校入学後、レスリングを始める。高校レスリング近畿大会優勝、
全国高等学校総合体育大会 8位入賞 国民体育大会 8位入賞
- 2001年4月 交通事故により脊髄損傷 (両下肢機能全廃)
- 2003年2月 車椅子陸上をスタート
- 2006年 国際パラリンピック委員会 陸上競技世界選手権大会 400m 日本代表
- 2011年4月 陸上競技を現役引退
- 2013年9月 東京2020大会開催の決定を機に、競技種目をパラ・パワーリフティングに変更し現役復帰
- 2014年11月 日本オリンピック委員会のトップアスリート就職支援制度「アスナビ」を通じて、乃村工藝社に就職

【主な成績】 (全て男子種目の階級)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 2017 第18回 全日本パラ・パワーリフティング選手権大会 | 59kg級 優勝 (138kg) 日本新記録* |
| 世界パラ・パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 11位 (135kg) 開催地:メキシコ |
| 第8回FAZZAワールドカップドバイ2017 | 54kg級 3位 (124kg) 開催地:ドバイ |
| 2016 第17回全日本パラ・パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 優勝 (127kg) |
| パラ・パワーリフティングジャパンカップ | 54kg級 優勝 (136kg) 日本新記録* |
| リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会 | 54kg級 出場 |
| 第7回FAZZAワールドカップドバイ2016 | 54kg級 3位 (128kg) 開催地:ドバイ |
| 2015 西日本パラ・パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 優勝 (127kg) |
| パワーリフティング・アジアオープンチャンピオンシップ | 54kg級 6位 (123kg) 開催地:カザフスタン |
| 第16回全日本パラ・パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 優勝 (133kg) 日本新記録 |
| (2016年1月開催) | |
| 2014 西日本障害者パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 優勝 (131kg) |
| インチョン2014アジアパラ競技大会 | 54kg級 6位 (123kg) 開催地:韓国 |
| 第15回全日本障害者パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 優勝 (133kg) 日本新記録 |
| 2013 第14回全日本障害者パワーリフティング選手権大会 | 54kg級 優勝 (115kg) |

北九州2018ワールドパラパワーリフティングアジア-オセアニアオープン選手権大会

西崎哲男 出場時間

9月8日 (土) 17:45~18:15 または 18:15~18:55 (54kg級表彰式 : 19:00~19:10)

【乃村工藝社および、西崎哲男に関するお問い合わせ先】

株式会社乃村工藝社 岡村有希子 080-2272-4587 阿部智佳子 080-2272-5680

Mail: tokyo2020@nomura-g.jp 【コーポレートサイト】 <https://www.nomurakougei.co.jp/>

パラ・パワーリフティングってなあに？



緊迫・爆発・歓喜の3秒ドラマ！

① どんなスポーツ？

スポーツジムでもおなじみ、ベンチプレス1種目の競技。下肢に障がいのある方が対象です。最重量級の選手が310Kgという世界記録をマークしていますが、これはほぼ同等の条件における健常者の記録を超えています。



<おまけの話> 1964年東京パラリンピックで正式種目になりました。この競技は床に置いたバーベルを頭上まで持ち上げるウェイトリフティングとは違う競技です。しかし1964年東京パラリンピックでの競技名は「ウェイトリフティング」でした。その後、IPCパワーリフティングという名称になり、2016年からパラ・パワーリフティングとなりました。

② 使うのはどこの筋肉？

胸・肩・三頭筋。腕力だけの勝負！

三頭筋



③ ルール

「Bar is loaded! (準備完了!)」

という主審のかけ声で選手が入場。
車椅子で入場する選手はベンチ台へ身体を移します。
車椅子でない選手もベンチ台へ。
脚にベルトをまいて体を固定し、心身ともに準備が出来たらバーを持ち、腕を伸ばします。

「Start! (競技開始!)」

という次の主審の合図で試技を始めます。
胸でバーをピタッと止めた後、左右バランス良くバーを押し上げ腕を伸ばします。

※Bar is loaded から Start まで2分以内！
2分の制限時間を超えたら失敗です。

「Rack! (バーを戻せ)」

という主審の掛け声とともに
もどします。



●ラウンド制

第1試技、挑戦重量の軽い人から順に進んでいきます。全員第1試技が終わったら第2試技へ。そして同じように試技をしていき、最後に第3試技へ。基本的には回を追うごとに重い記録に挑戦していきます。

●記録

3回の試技の中で成功した一番重い記録が採用されます。

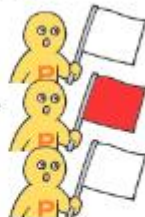
●審判の判定

「白」=成功 「赤」=失敗

審判3人がそれぞれに判断して「白」か「赤」を出します。

成功 ▶ 「白」が3人、または「白」が2人「赤」が1人

失敗 ▶ 「赤」が3人、または「赤」が2人「白」が1人



●階級

男女ともに10階級に分かれて順位を競います。

男子	49kg級	~49kg	女子	41kg級	~41kg
	54kg級	49.01~54kg		45kg級	41.01~45kg
	59kg級	54.01~59kg		50kg級	45.01~50kg
	65kg級	59.01~65kg		55kg級	50.01~55kg
	72kg級	65.01~72kg		61kg級	55.01~61kg
	80kg級	72.01~80kg		67kg級	61.01~67kg
	88kg級	80.01~88kg		73kg級	67.01~73kg
	97kg級	88.01~97kg		79kg級	73.01~79kg
	107kg級	97.01~107kg		86kg級	79.01~86kg
	107kg超級	107.01kg~		86kg超級	86.01kg~

ルール: もうちょっと詳しく

こんなところにも注目して、大会観戦してみてください！
バーベルが上げられなかったら「失敗」ということがわかるけど、なぜ「失敗」と判定されたかわからない！？



- 最初にバーベルを胸まで下ろしたら、胸の上で一瞬（目視できる程度）止めてからバーベルを上げる。
- バーベルはまっすぐ平行に！
バーベルが傾いたらダメ。
- 途中でバーベルが下がったらダメ。

